

# 2018年度森林公園だより No.11 2018年7月8日

梅雨末期の大雨が続き、注意は必要ですが、園内の森の木々は生き生きとしています。散策をする際には、周辺の状態をよく確認し、水がたくさん出ている、小石が落ちてくるなど異変があればすぐに撤退し、公園事務所(288-1214)にご連絡ください。

オオバギボウシ、リョウブ、トラノオの仲間が花を咲かせています。アジサイ、ネムノキはピークを過ぎました。ヤブコウジの花が咲いていました。冬に赤い実を見ることは多かったのですが、初めて花を確認できました。多くの種類のキノコが見られるようになりました。イグチの仲間や、テングタケの仲間、1cmにも満たない小さなきのこなどバラエティーに富んでいます。運がよければ、変形菌の一種であるススホコリを見ることができるかもしれません。

森林学習展示館のそばには、比較的大きく、傷がつくと一気に濃藍色に変化するイグチの仲間がありました。

緑化の広場



トラック協会の森



サイクリングターミナル横クヌギ林



トラノオの仲間



リョウブ



オオバギボウシ



ヤブコウジ(花)



テングタケの仲間



キノコ類(種類等不明)



イグチの仲間



傷ついたら即濃青色に変色



## 一口メモ

キノコ(菌)類は非常に種類が多く、また、種類の判別が難しい生き物です。ツバの有無、ツボの有無、柄が中空かつまっているか、などいくつかの要素を見ます。中には切ると色が変わるものもあります。種類の判定では重要な要素です。